

Catalogue No.
20137-68



NARUMI BONE CHINA 【インテリア】

陶額

ナルミでは、食器作りで培った印刷技術と国内有名画家の皆様との交流を生かし、1970年頃からナルミボーンチャイナで陶板や皿を利用した陶画を手掛けてきました。陶画とは、陶磁器(当社では、ボーンチャイナ)の板に陶磁器用の顔料を施し、高温の窯の炎で焼き付けたものをいいます。

杉本健吉 画伯

- 1905年 名古屋市に生まれる。
- 1925年 京都にて岸田劉生の門下生となる。
- 1937年 国画奨学賞を受ける。「宇奈月雪溪」
- 1940年 このころから大和の風物に魅せられ、奈良通いをはじめ。
- 1942年 第5回文展特選。「博物館中央」
- 1946年 国展に奈良素描多数出品。第2回日展特選。「博物館彫刻室」
- 1948年 第1回中日文化賞(奈良風景を題材とした「タブローとしての素描」)。
- 1950年 週刊朝日の吉川英治作「新・平家物語」挿絵担当。
- 1958年 以後、吉川英治作「新・水滸伝」「私本太平記」の挿絵担当。
- 1962年 初めて海外スケッチに出る。ヨーロッパへ。以降毎年海外スケッチ旅行を行う。
- 1983年 大阪・四天王寺「聖徳太子絵伝」完成。
- 1987年 「財団法人杉本美術館」を名古屋鉄道(株)により四月、知多美浜緑苑内に開館。
- 1989年 スペイン旅行の直前に右手骨折し、翌90年旅行を決定する。
- 1994年 杉本美術館新館開館。
- 2004年 逝去(98歳)。

洋画、日本画といった概念を越え、独特の芸術観を持つ日本洋画界の重鎮。画壇無所属。

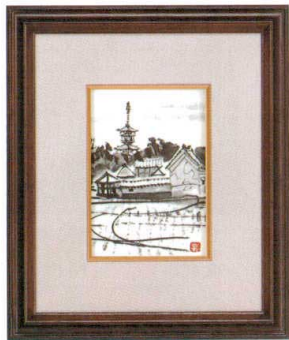


412-637
＜白牡丹＞杉本健吉 画伯 63,000円
(本体 60,000円)
(重さ3.5kg)＜絵38×27cm/額59×48cm＞CT/3



411-636
＜牡丹図＞杉本健吉 画伯 63,000円
(本体 60,000円)
(重さ4.0kg)＜絵43×22cm/額58×37cm＞CT/3

陶額



424-134
＜薬師寺＞杉本健吉 画伯 31,500円
(本体 30,000円)
(重さ2.0kg)＜絵23×16cm/額45×38cm＞CT/5



268-641
＜春秋競甘＞杉本健吉 画伯 36,750円
(本体 35,000円)
(重さ3.0kg)＜絵16×36cm/額51×39cm＞CT/4



451-123
＜麗牡丹＞杉本健吉 画伯 52,500円
(本体 50,000円)
(重さ3.0kg)＜絵33×24cm/額50×41cm＞CT/5

石川滋彦 画伯

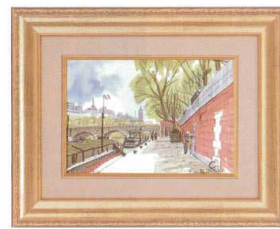
新制作協会会員
日本美術家連盟常任理事

- 1909年 東京都に生まれる。
- 1932年 東京美術学校西洋画科を卒業。
- 1938年 文展にて特選を受賞。
- 1939年 文展にて特選を受賞。
- 1947年 新制作協会会員となる。
- 1986年 長谷川仁記念賞受賞
- 1994年 逝去(84歳)

新聞・雑誌の挿絵でも活躍し、代表作に田村泰次郎「東京の門」の挿絵などの他、著書に「日曜画家の油絵入門」がある。



362-123
＜モンパルナスの通り＞石川滋彦 画伯 52,500円
(本体 50,000円)
(重さ3.5kg)＜絵24×33cm/額41×50cm＞CT/5



377-134
＜セーヌ河岸荷物船＞石川滋彦 画伯 31,500円
(本体 30,000円)
(重さ2.0kg)＜絵16×23cm/額30×36cm＞CT/5